

宇都宮都市交通戦略推進懇談会だより

vol. 2 - 2023.10.23 -



本市では、目指す都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けて、多様な交通手段が連携した総合的な交通ネットワークの構築に取り組んでいます。今年度は、平成31年3月に策定した「第2次宇都宮都市交通戦略」の中間見直しを進めています。

1 令和5年度 第2回宇都宮都市交通戦略推進懇談会の概要

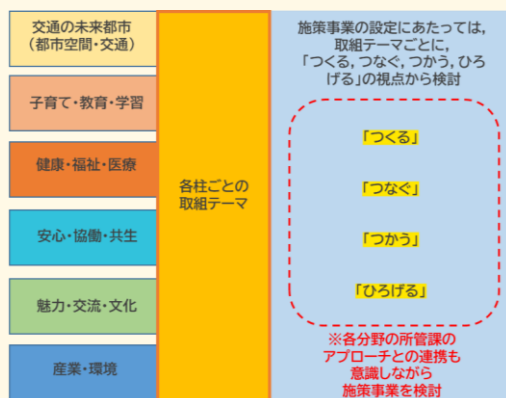
■ 本市の交通の現状分析・課題の抽出結果を踏まえ、中間見直しの方向性について意見交換を行いました。

- スーパースマートシティの実現に向けて、総合計画に位置付けられた政策の柱ごとに、今まで取り組んできた「NCCの形成状況」を踏まえつつ、「時代潮流の変化」や「Well-Being指標等から見た特徴」を確認したうえで、「移動の視点から捉えた課題」を整理し、各柱ごとに「取組テーマ」を設定。
- 施策体系の見直しにあたっては、課題の整理を経て位置付けた各柱の「取組テーマ」に対応した施策事業を設定。

<本日のポイント>

- ① 本市交通の現状分析・課題の抽出について
- ② 中間見直しの方向性について

【各柱ごとの「取組テーマ」に対応した施策事業を設定】



2 第2回懇談会における意見

- LRTは、宇都宮駅西側への延伸も含め、まだまだ広がりが必要。引き続き「つくる」取組も戦略の中で打ち出しても良いと思う。
- LRT開業後、子どもや高齢者の利用が多くあるように感じている。若い世代の車離れの傾向が伺えるとのことだったが、これは公共交通利用者の母体を増やす非常に良いチャンス
- 交通事業者において、運転手不足に悩まされており、今後、公共交通ネットワークの維持・充実にあたっては、運転手確保の取組みも重要
- 市全体でみると、公共交通が充実していない地区もあるので、そういった地区に対してどのような施策を展開するのか盛り込むと良い。
- 高齢化が進んでいる中で、自宅から直接大きな病院等の目的地までスムーズに行き来できるような路線の充実化が必要
- 2050年のカーボンニュートラルに向けて、引き続き取組を推進していただきたい。
- 高齢者や交通弱者といった利用者の視点や、通勤通学、観光等の場面などの視点から施策事業を検討するなど工夫していただきたい。
- ネットワークの効率化、各分野の移動の組合せ、供給サイドからの輸送資源の統合が必要。
- NCC、LRT等の既存の計画との連携が記載されていると良い。 など



【お問い合わせ先】 宇都宮都市交通戦略推進懇談会

事務局: 宇都宮市総合政策部交通政策課 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1-5

【TEL】 028-632-2134 / 【FAX】 028-632-5426

【E-mail】 u2015@city.utsunomiya.tochigi.jp